

2019年3月期 第2四半期

決算説明会資料

株式会社 F U J I



# 目次

- 当社の概要
- 第2四半期決算の概要
- 2019年3月期 業績予想
- 参考情報

# 当社の概要

# 会社情報

設立	1959年4月7日
資本金	58.78億円 (2018年3月)
従業員数	2,229人 (2018年3月)
売上高	1,200億円 (2018年3月)
営業利益	228億円 (2018年3月)
経常利益	235億円 (2018年3月)
主要製品	電子部品実装ロボット 工作機械



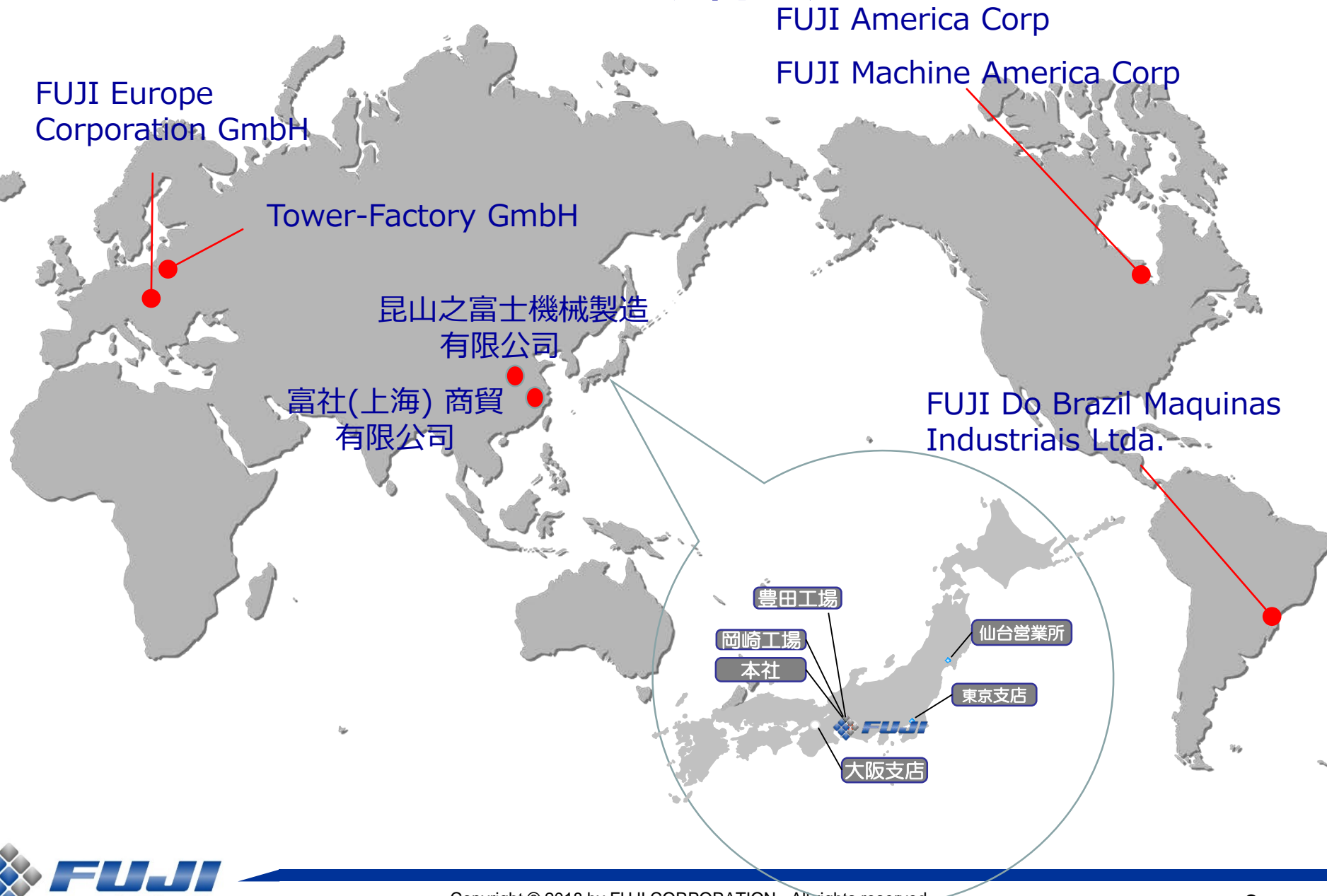
本社外観 (愛知県知立市)

海外拠点： アメリカ、ドイツ、中国、ブラジル他

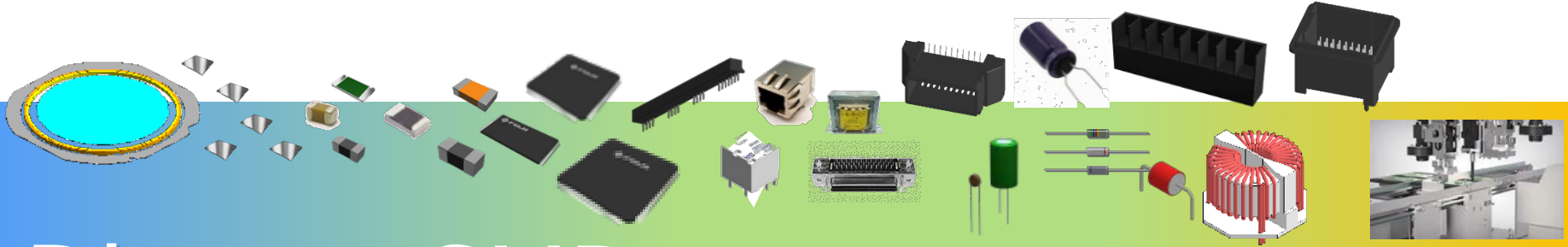
# 主な沿革

1959年	名古屋市中川区昭和橋において富士機械製造株式会社を設立
1970年	米国現地法人フジ アメリカ コーポレーション設立（現連結子会社）
1971年	NC自動旋盤完成
1978年	電子部品自動挿入機 BA完成
2003年	モジュール型高速多機能装着機 NXT完成
2008年	超高密度 大気圧プラズマユニット Tough Plasma完成
2013年	東京証券取引所市場第一部上場
	モジュール型生産設備 DLFn 旋盤モジュール完成
2014年	中国・昆山工場操業開始
2016年	パブリックストックシステム Quist完成
	移乗サポートロボット Hug T1完成
	複合施設 THANKオープン
2017年	小型多関節ロボット SmartWing完成
2018年	「富士機械製造株式会社」から「株式会社F U J I」へ社名変更 ファスフォードテクノロジ社を完全子会社化

# 国内・海外拠点



# ロボットソリューション事業



Die

SMD

挿入部品

組立



NXT-III    NXT III    AIMEX III    sFAB-α    sFAB-D    SmartWing  
Fuji Scalable Placement Platform

印刷関連

プラズマ関連 物流・Eコマース関連 介護業界

スマートファクトリーを  
実現するキーシステム

Nexim



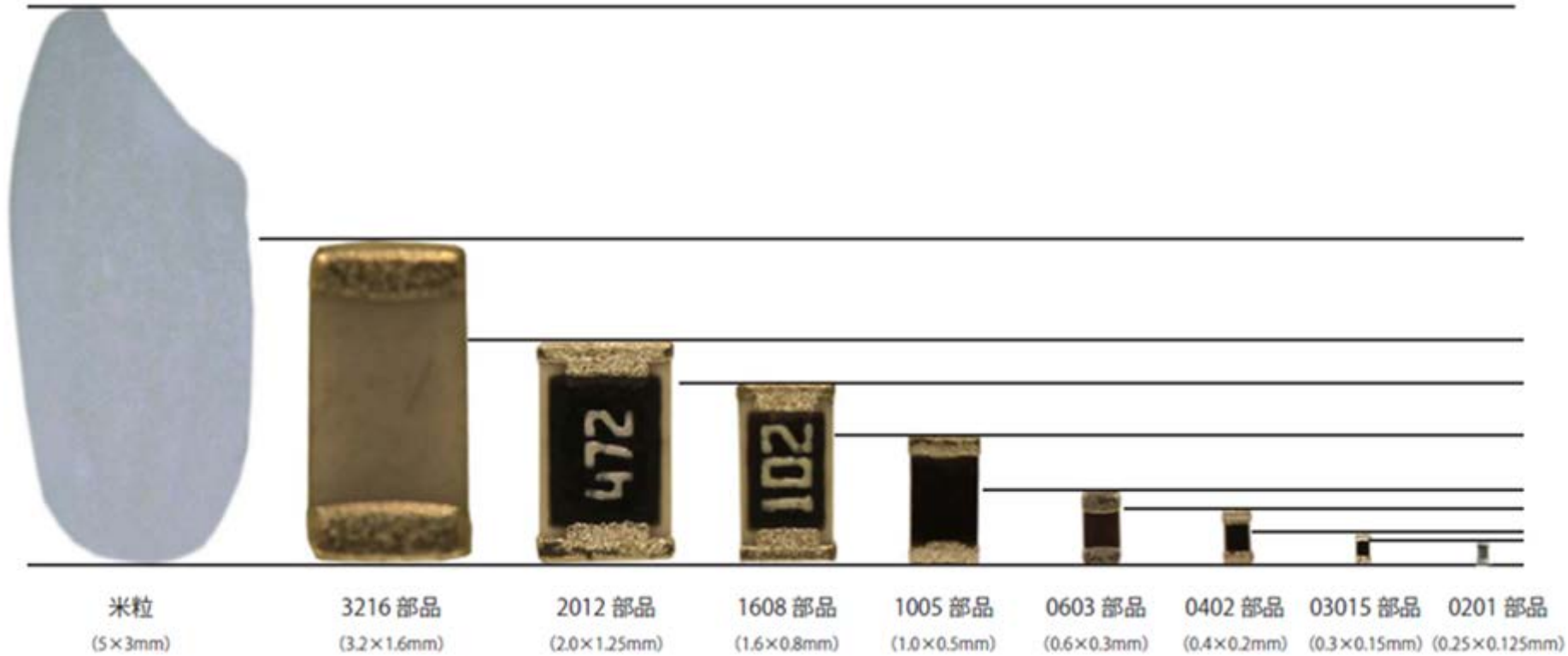
GPX-C Tough Plasma

Quist

Hug  
移動サービスロボット

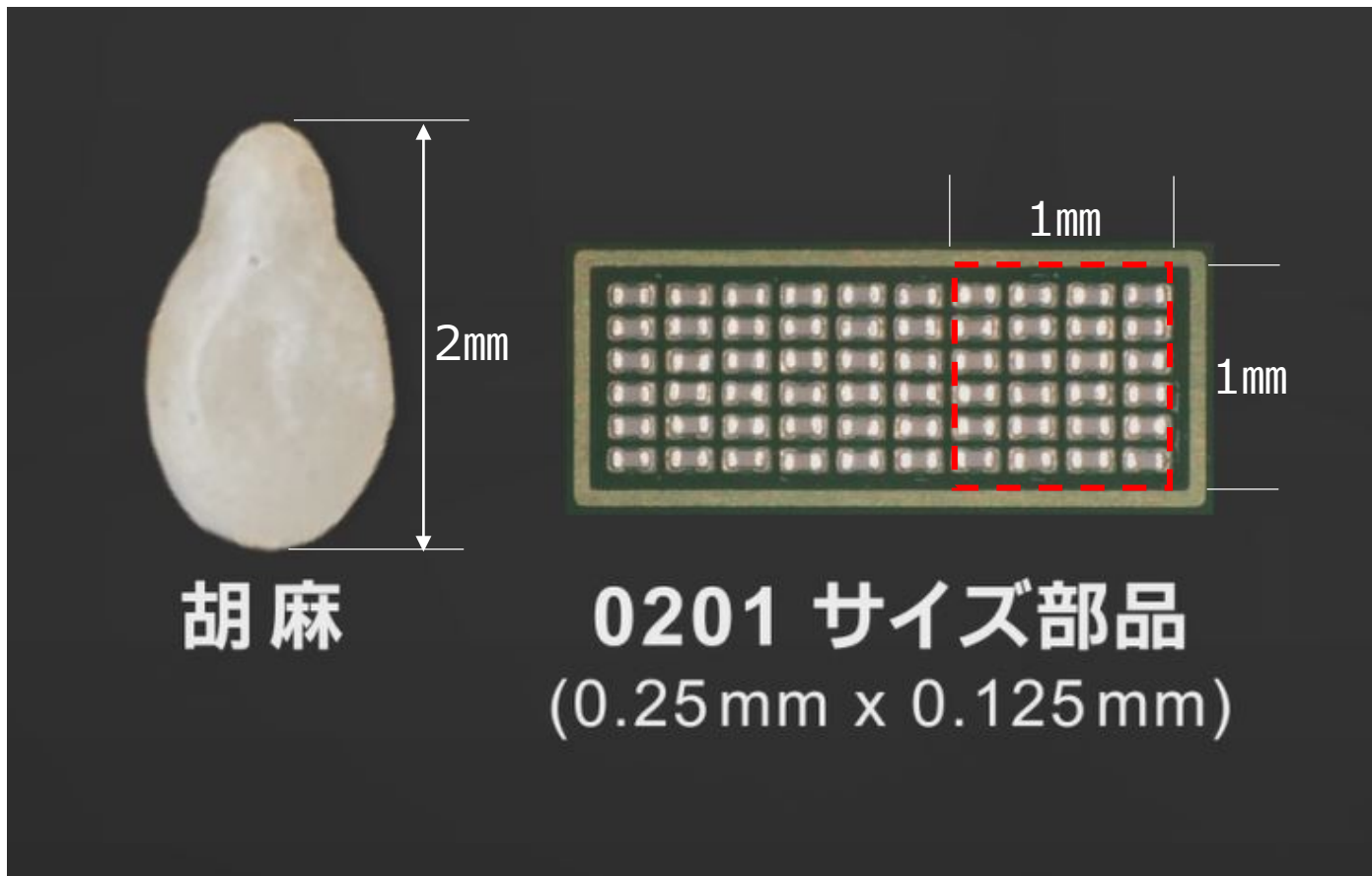


# 微細化する電子部品



スマホに搭載される電子部品は、0402サイズへ移行中



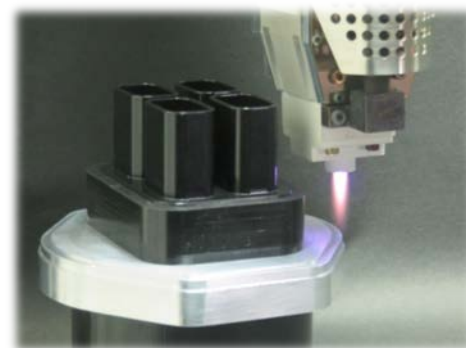


1 mm × 1 mm の範囲に 0201サイズ部品を約2秒で24個搭載  
(部品間ギャップは0.05mm)

その先進プラズマ技術が、ものづくりを変える  
大気圧プラズマユニット

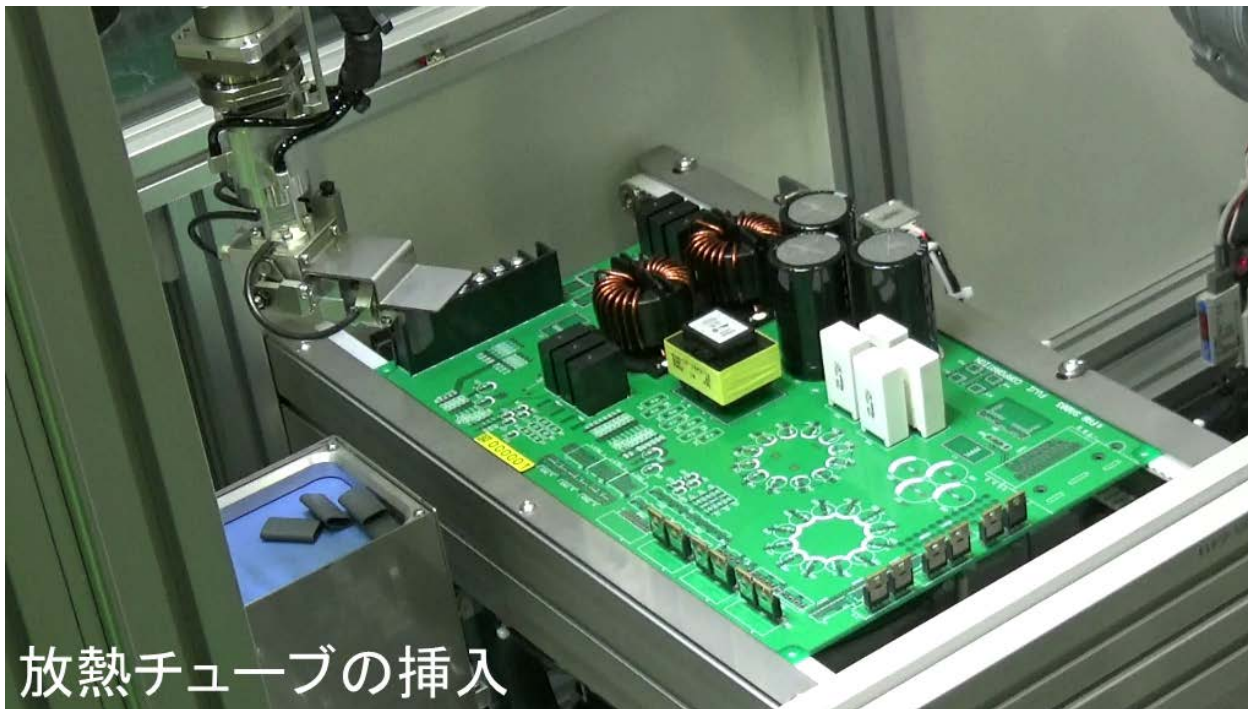
# Tough Plasma

自動車・航空宇宙・医療機器・電子部品等の異種材料の接着前処理



# 小型多関節ロボット SmartWing

- ビジョンシステムを標準搭載
- 座標補正技術とビジョンデータを活用し、ティーチングの手間を削減。  
立上げ時間を従来に比べて約40%削減することができます（当社規定動作による比較）
- ロボットに登録済みの動作に『何を』『どこに』の情報を与えるだけの簡単な操作で、ロボットの動作を作成することが可能



放熱チューブの挿入



日刊工業新聞社主催  
第48回 機械工業デザイン賞  
審査員特別賞受賞

# 移乗サポートロボット

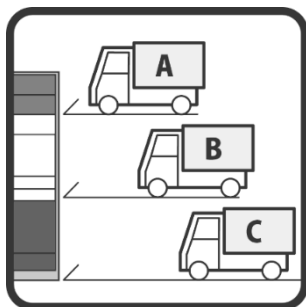


## 在宅介護向け移乗サポートロボット「Hug L1」



- ・コンセプト いつでも、誰でも、手軽に、ロボット介護を実現
- ・販売形式 レンタル（買取も可能）
- ・介護施設向け「Hug T1」との違い
  - ①コンパクト・軽量化により在宅環境に適合
  - ②在宅向けの価格帯にてご提供
  - ③立つ・座るの2つのボタンでシンプルな操作性
- ・展示会出展 2018年11月12日～15日  
MEDICA（ドイツ・デュッセルドルフ）  
2018年10月13日～2019年2月23日  
介護ロボットフォーラム（全国15箇所）
- ・取得コード TAISコード（福祉用具貸与のため）

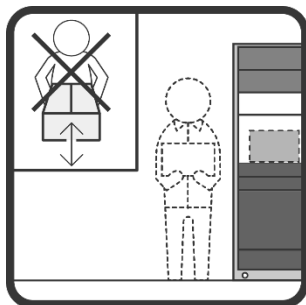
# パブリックストックカシステム **Qui:st**



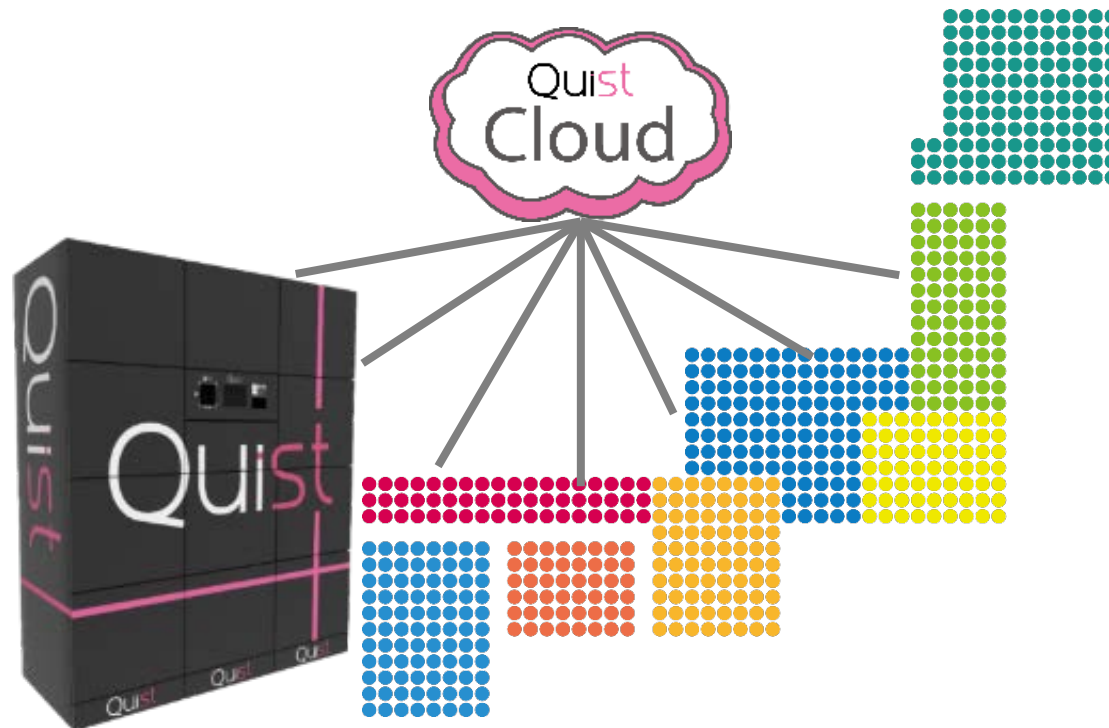
マルチキャリア



マルチユース



ゼロオペ

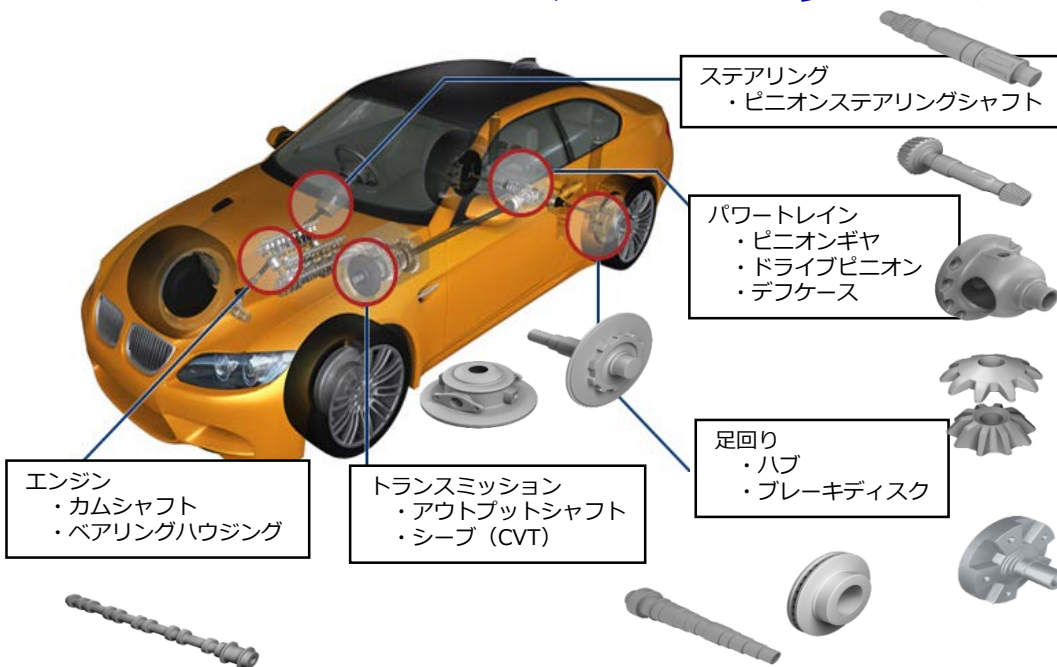


- ・ 大手物流キャリア 2 社とのシステム連携を可能に
- ・ 環境省・CO2排出削減（再配達削減）事業に参画
- ・ 業界トップレベルの防塵・防水性能を実現（IP54）
- ・ 直近出展展示会

2019年2月13日～15日 オフィスサービスEXPO（名古屋）

2019年3月5日～8日 リテールテック（東京）

# マシンツール事業



正面2スピンドル旋盤  
**CSシリーズ**



モジュール型生産設備

**DLFN**



横型NC旋盤

**TNシリーズ**



# CSR



# 第2四半期決算の概要



# 決算のポイント

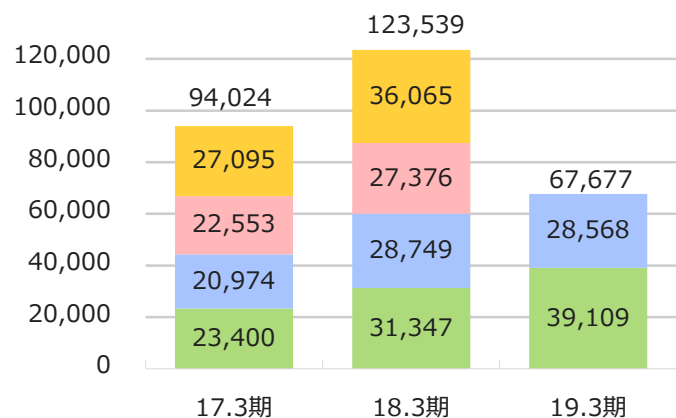
- 米中貿易摩擦の影響で中国での成長に減速感は見られたものの、製造業の設備投資は世界的には底堅く推移。
- ロボットソリューション事業では、通信機器関連の設備投資が慎重であったが、車載、サーバー・ネットワーク向け設備は堅調。
- マシンツール事業では、中国の受注・売上が堅調に推移する一方、北米で売り上げ増加が寄与。

# 2019年3月期 第2四半期 業績

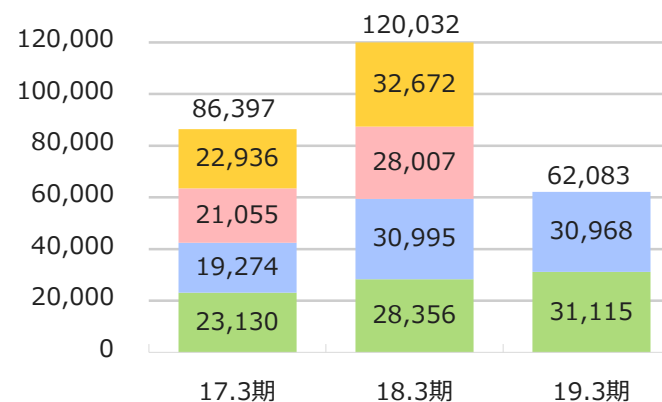
(百万円)

	18.3期 Q2 累計実績	19.3期 Q2 累計実績	対前年同期	
			額	率
受注高	60,097	67,677	+7,580	+12.6%
売上高	59,352	62,083	+2,731	+4.6%
営業利益	10,688	11,535	+846	+7.9%
経常利益	11,196	11,982	+785	+7.0%
当期純利益	7,884	8,670	+785	+10.0%

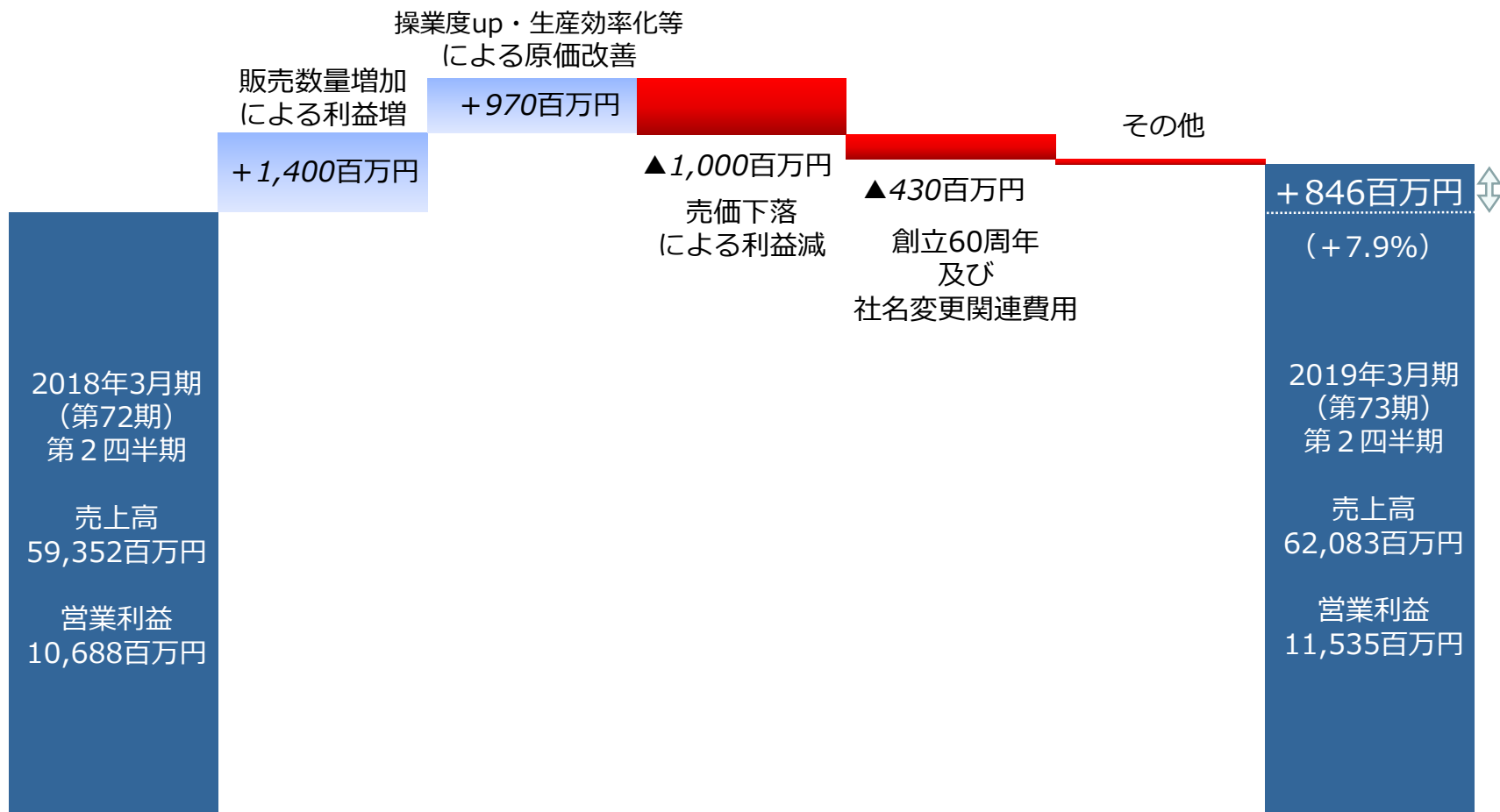
受注高



売上高



# 営業利益増減分析

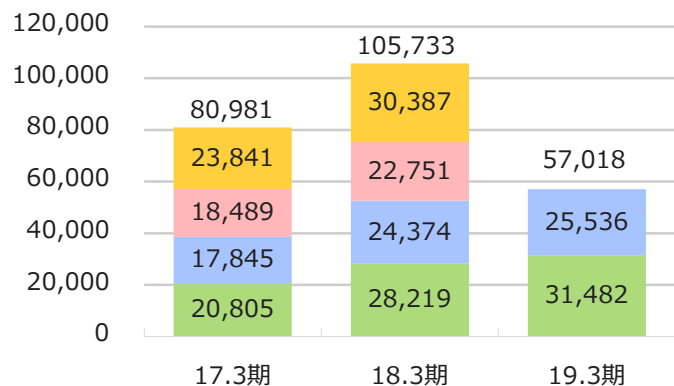


# ロボットソリューション事業 業績

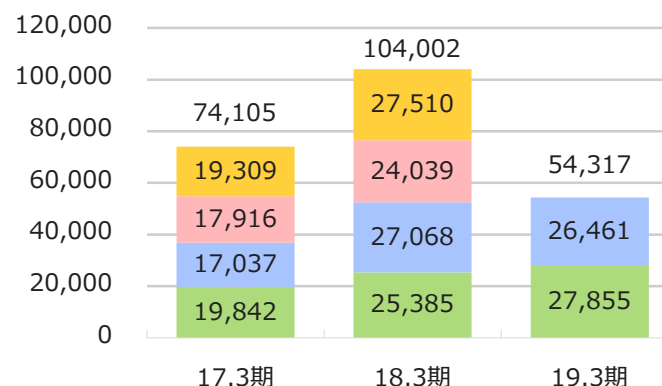
(百万円)

	18.3期 Q2 累計実績	19.3期 Q2 累計実績	対前年同期	
			額	率
受注高	52,594	57,018	+4,424	+8.4%
売上高	52,453	54,317	+1,863	+3.6%
営業利益	12,352	13,103	+751	+6.1%
受注残高	16,328	27,320	+10,992	+67.3%

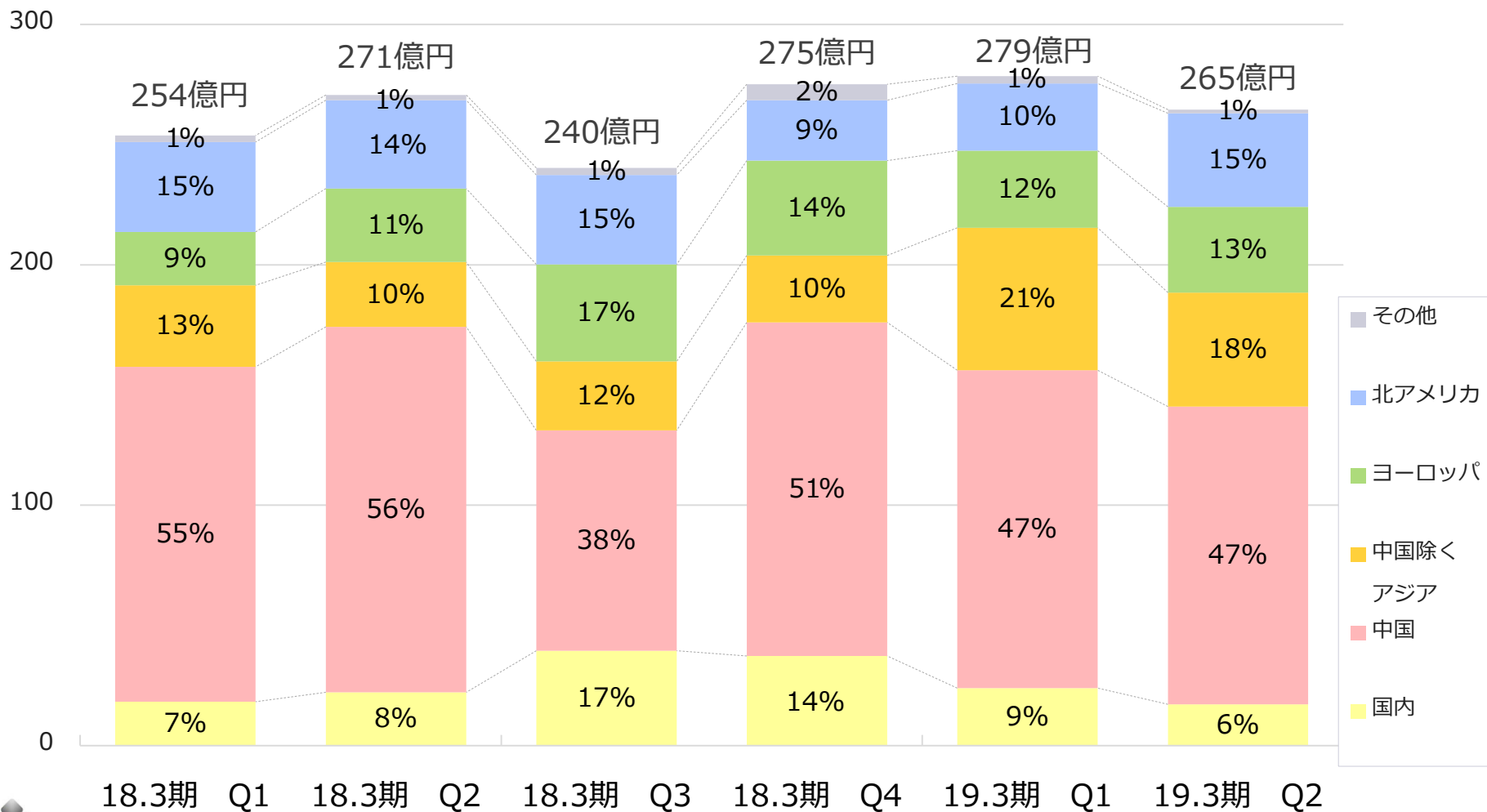
受注高



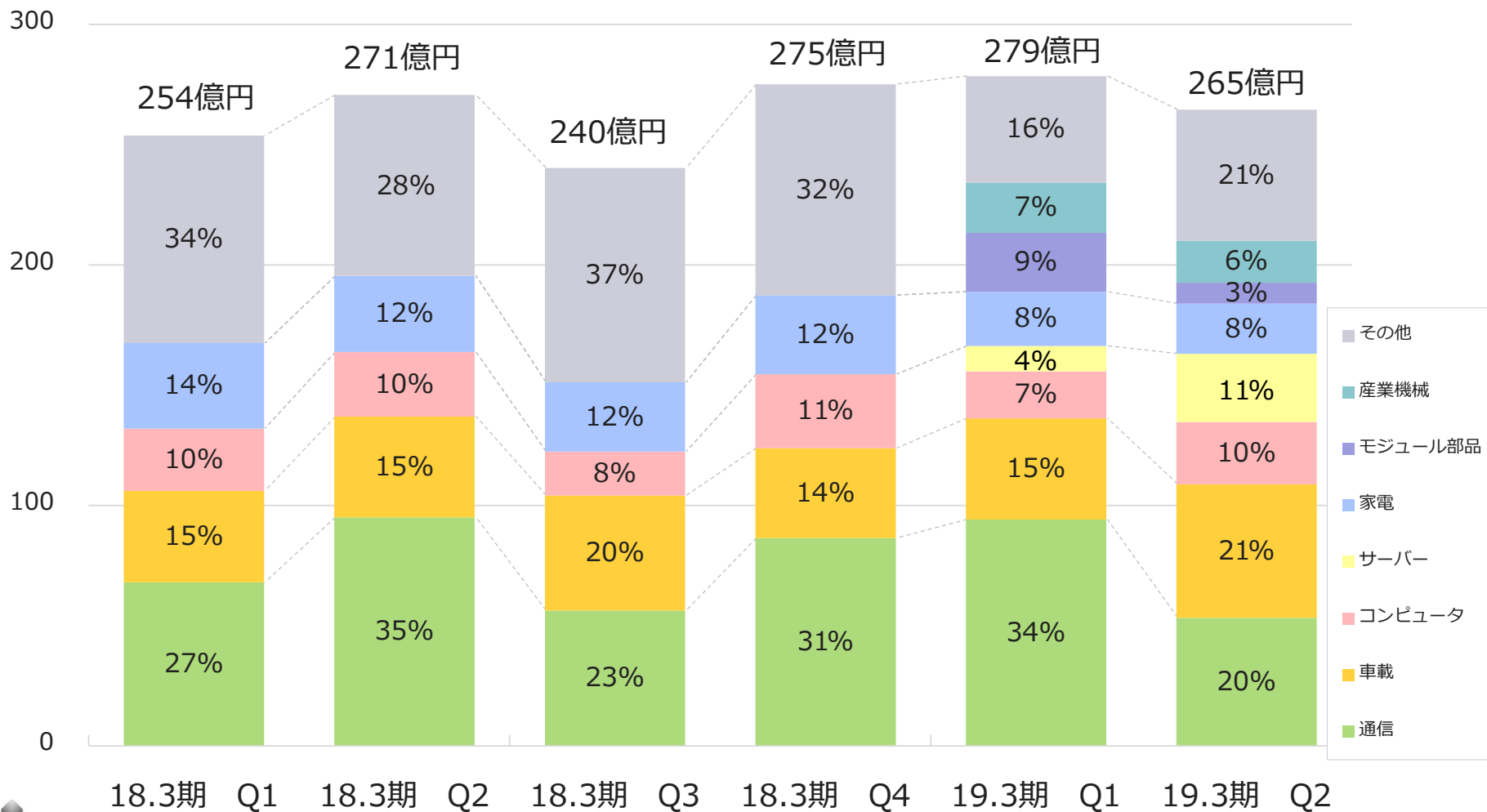
売上高



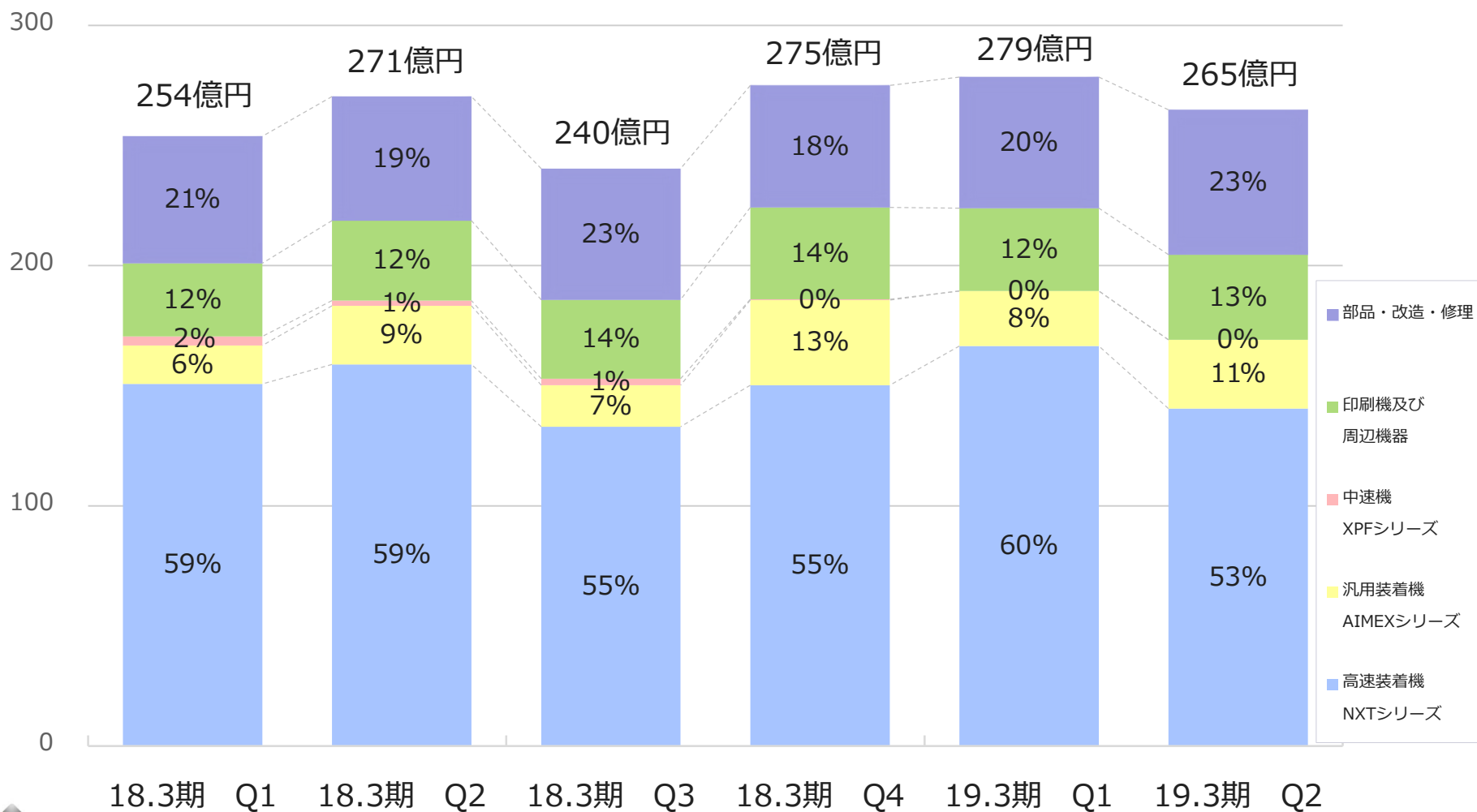
# ロボットソリューション事業 地域別売上高



# ロボットソリューション事業 業種別売上高



# ロボットソリューション事業 機種別売上高

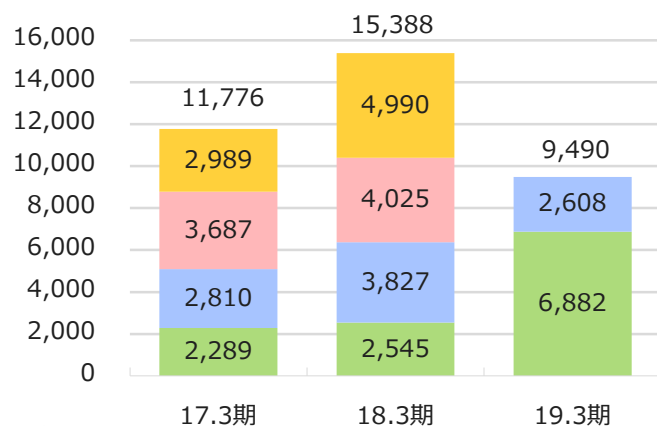


# マシンツール事業 業績

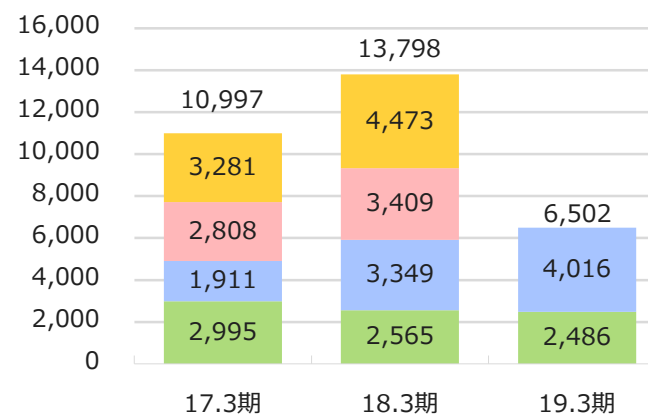
(百万円)

	18.3期 Q2 累計実績	19.3期 Q2 累計実績	対前年同期	
			額	率
受注高	6,372	9,490	+3,118	+48.9%
売上高	5,915	6,502	+587	+9.9%
営業利益	53	388	+334	+620.9%
受注残高	8,111	12,232	+4,121	+50.8%

受注高

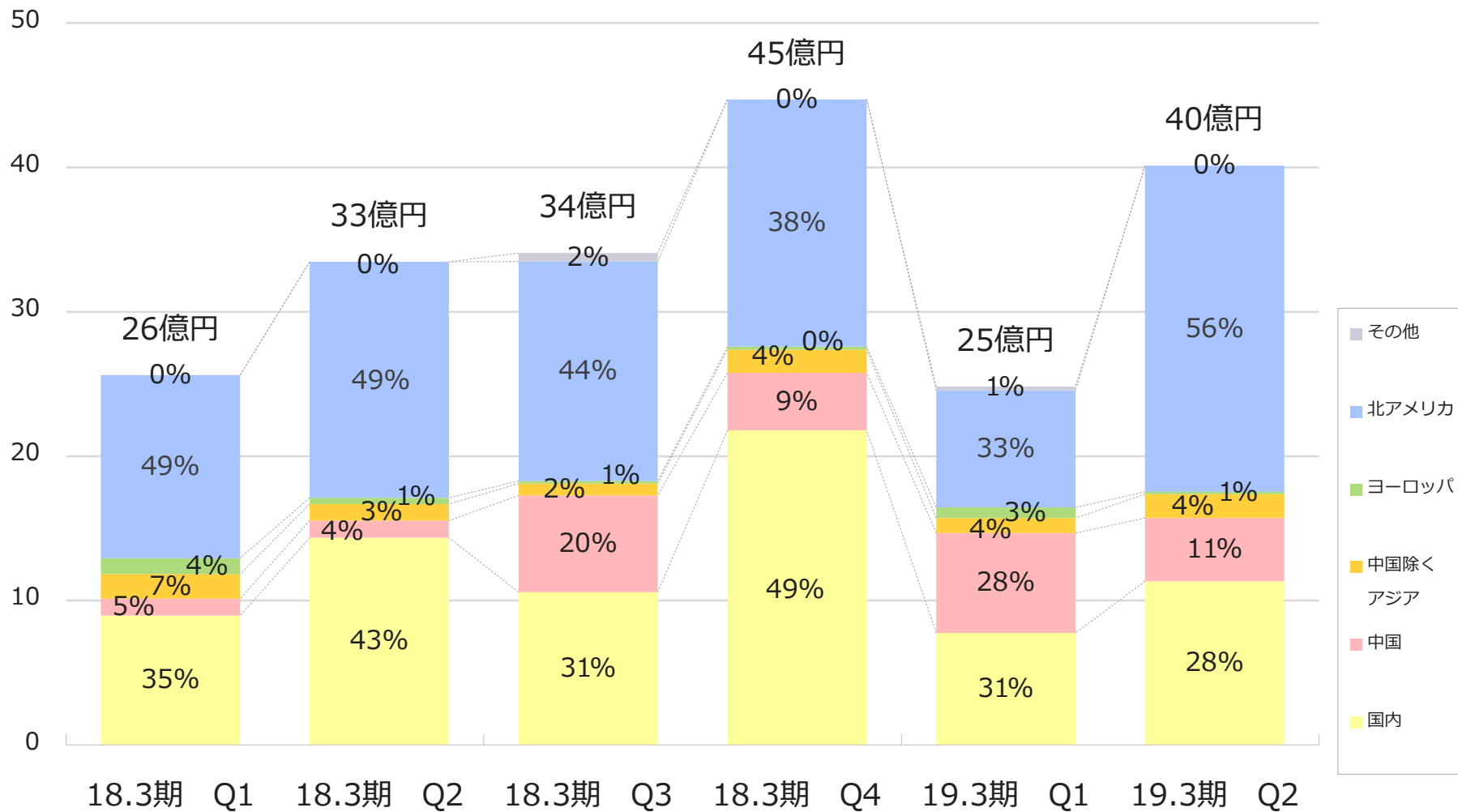


売上高

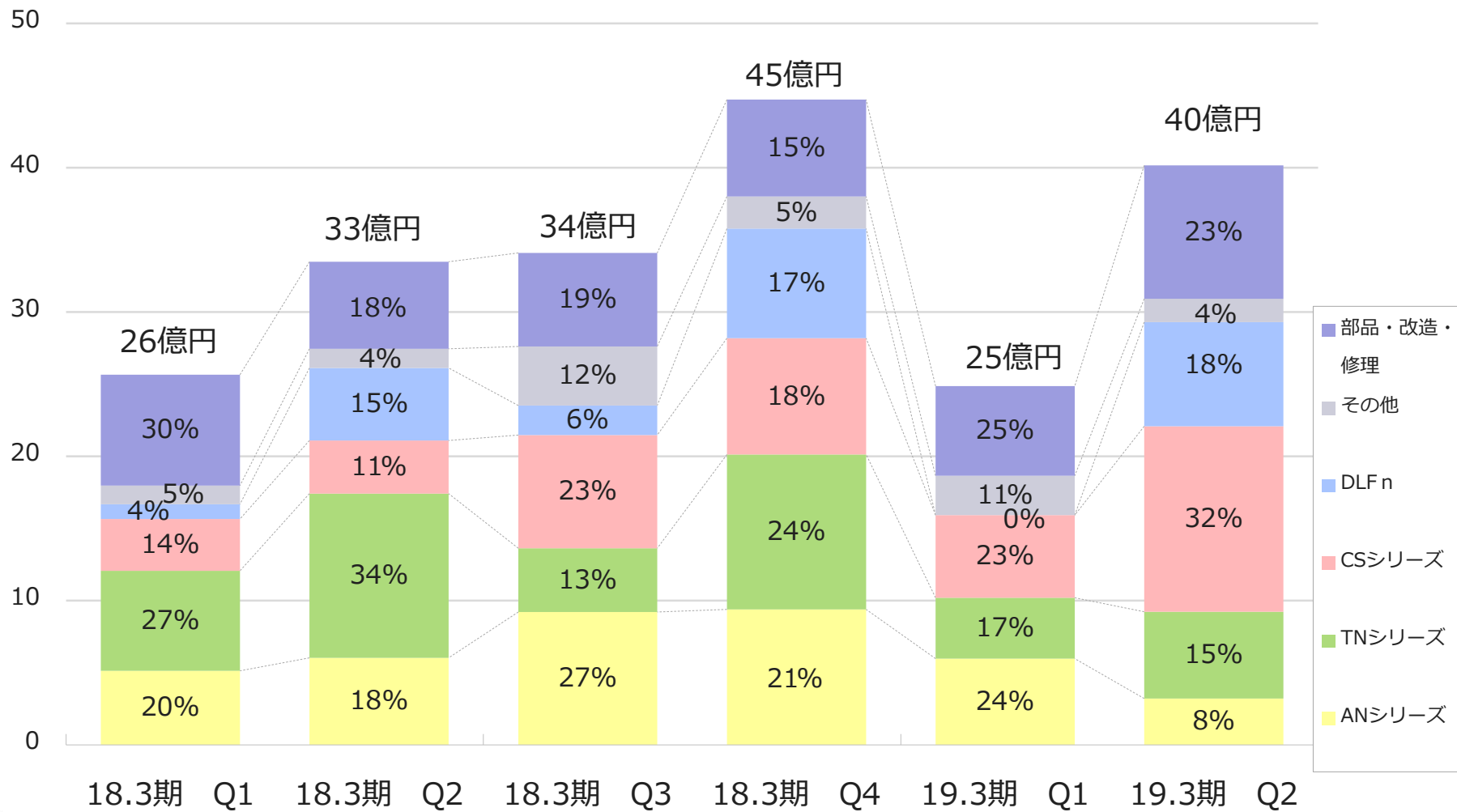




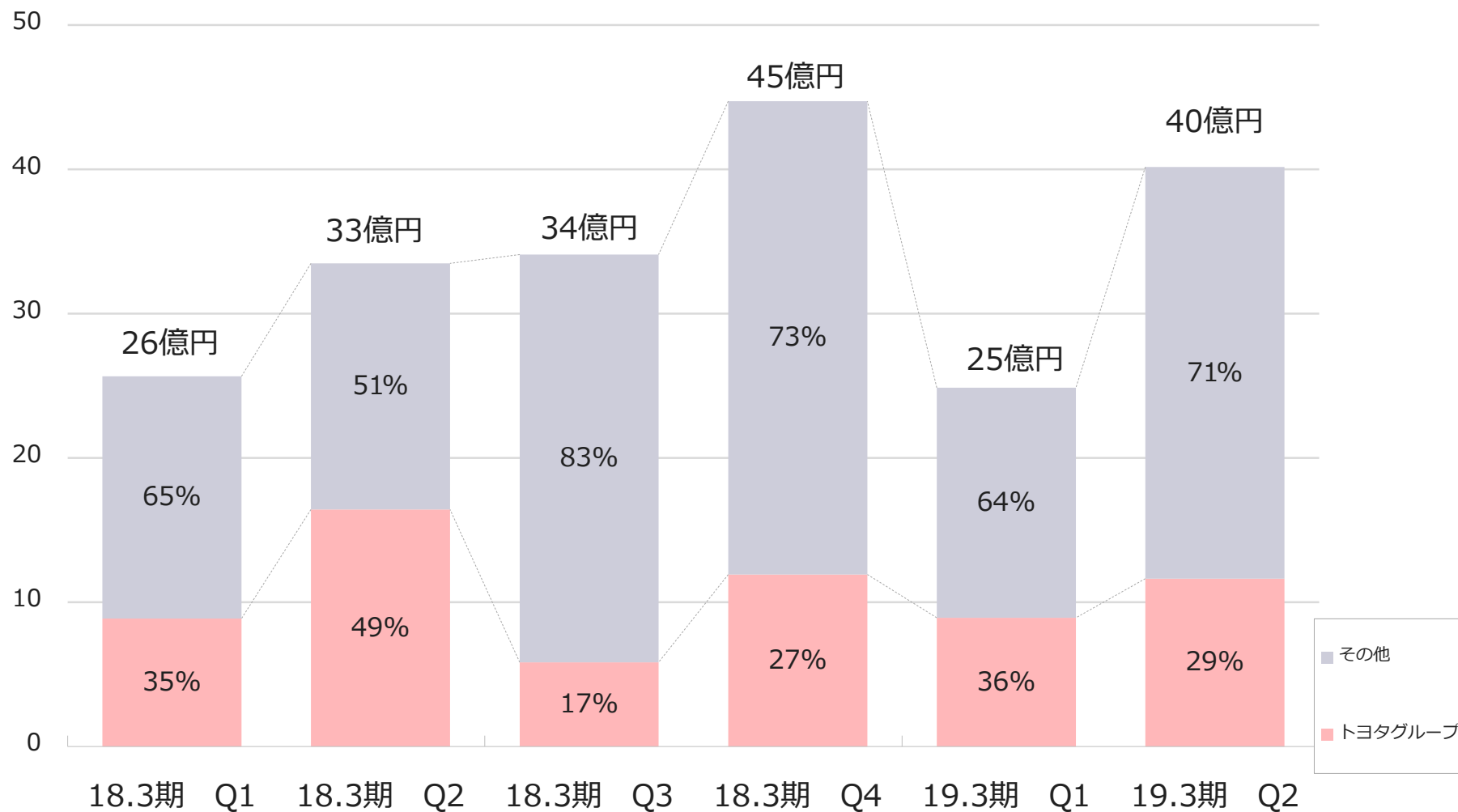
# マシンツール事業 地域別売上高



# マシンツール事業 機種別売上高



# マシンツール事業 トヨタグループ向け売上高



# 2019年3月期 業績予想

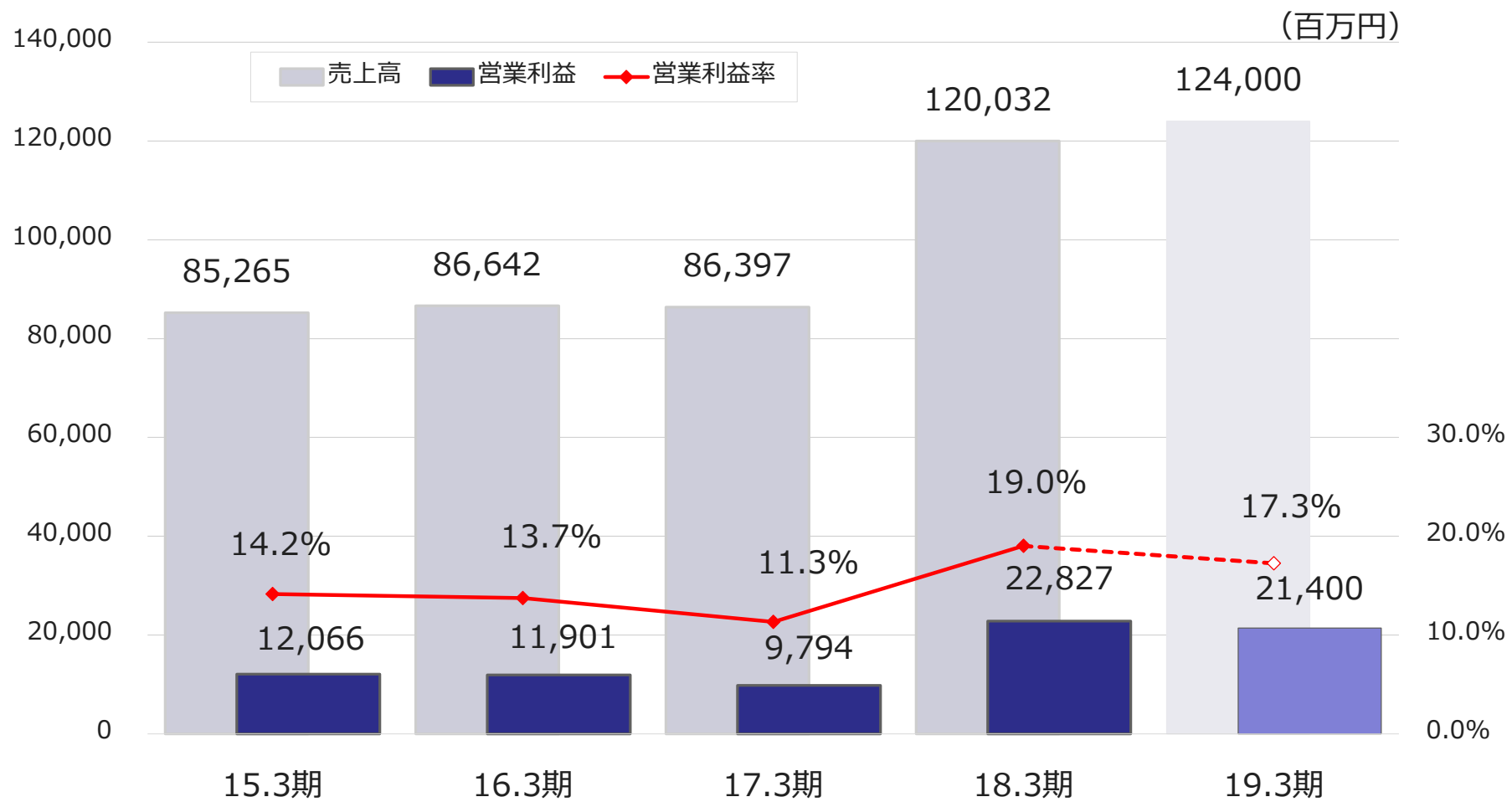
# 連結業績予想

・ 2018年5月10日公表の従来予想からの変更あり

(百万円)

	18.3期 通期実績	19.3期通期予想				
		2018年5月10日 公表予想	今回予想	対前年同期実績比		対従来予想
				額	率	額
受注高	123,539	124,000	125,000	+1,460	+1.2%	+1,000
売上高	120,032	122,000	124,000	+3,967	+3.3%	+2,000
営業利益	22,827	23,000	21,400	▲1,427	▲6.3%	▲1,600
営業利益率	19.0%	18.9%	17.3%	-	-	-
経常利益	23,538	23,600	22,000	▲1,538	▲6.5%	▲1,600
当期純利益	17,523	16,800	15,800	▲1,723	▲9.8%	▲1,000

# 連結売上高・営業利益



# 主要セグメント受注・売上予想

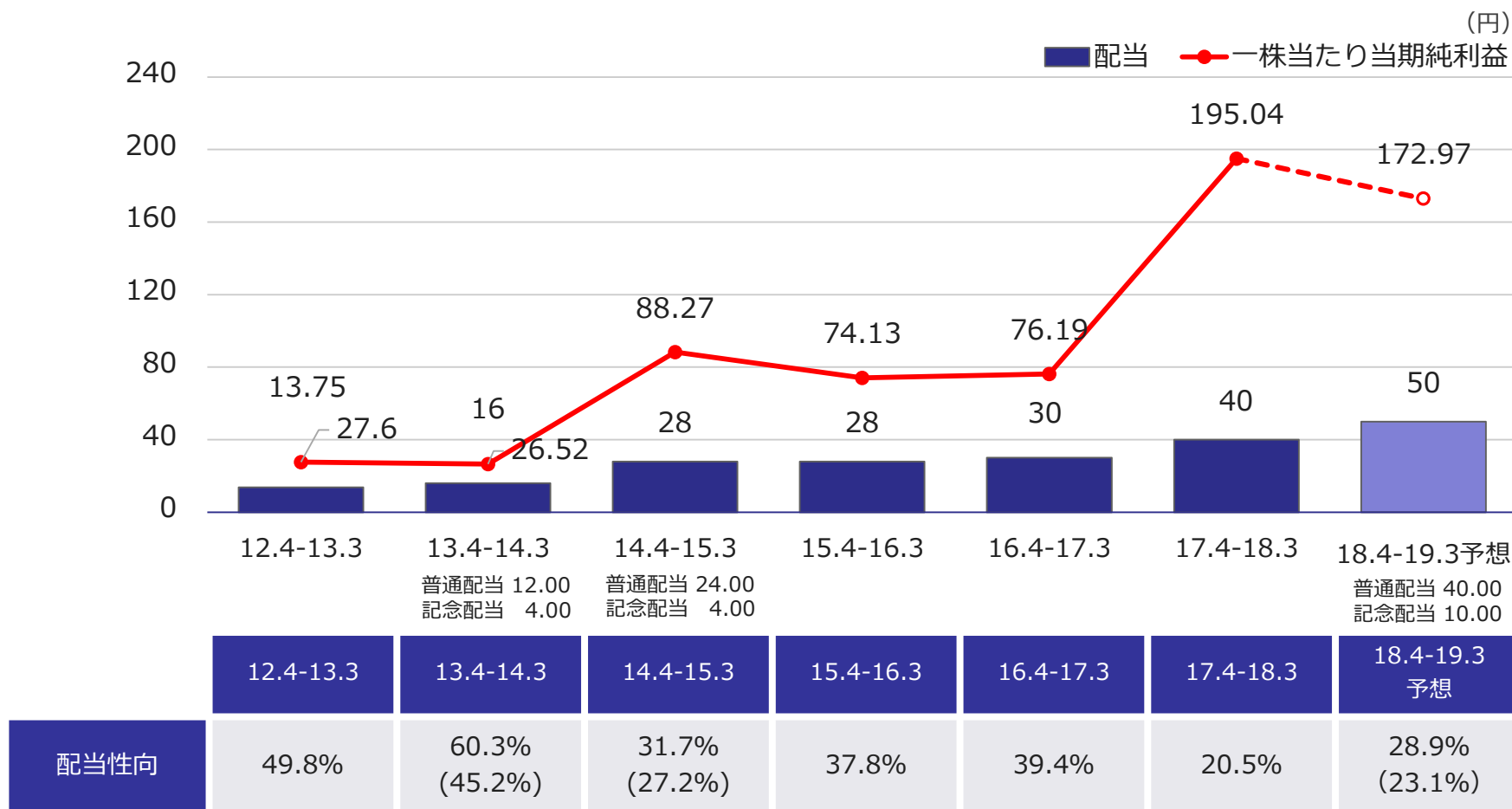
・ 2018年5月10日公表の従来予想からの変更あり

(百万円)

		18.3期 通期実績	19.3期通期予想				
			2018年5月10日 公表予想	今回予想	対前年同期実績比		対従来予想
					額	率	額
RS 事業	受注高	105,733	106,000	108,000	+2,266	+2.1%	+2,000
	売上高	104,002	105,000	108,000	+3,997	+1.0%	+3,000
	受注残	24,619	25,619	24,619	±0	-	△1,000
MT 事業	受注高	15,388	15,000	15,000	▲388	▲2.5%	±0
	売上高	13,798	14,000	14,000	+202	+1.5%	±0
	受注残	9,244	10,244	10,244	+1,000	+10.8%	±0

注：ロボットソリューション事業の受注残高につきまして、当第2四半期連結会計期間より連結子会社としたファスフォードテクノロジー株式会社の受注残高を2018年3月期通期実績より遡及修正して含めております。

# 1株当たり当期純利益・1株当たり年間配当金



注:2013年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。  
 上記では当該株式分割が2012年3月期の期初に行われたと仮定して算出しております。

( ) 普通配当の配当性向



# 参考情報

# ロボットソリューション事業戦略

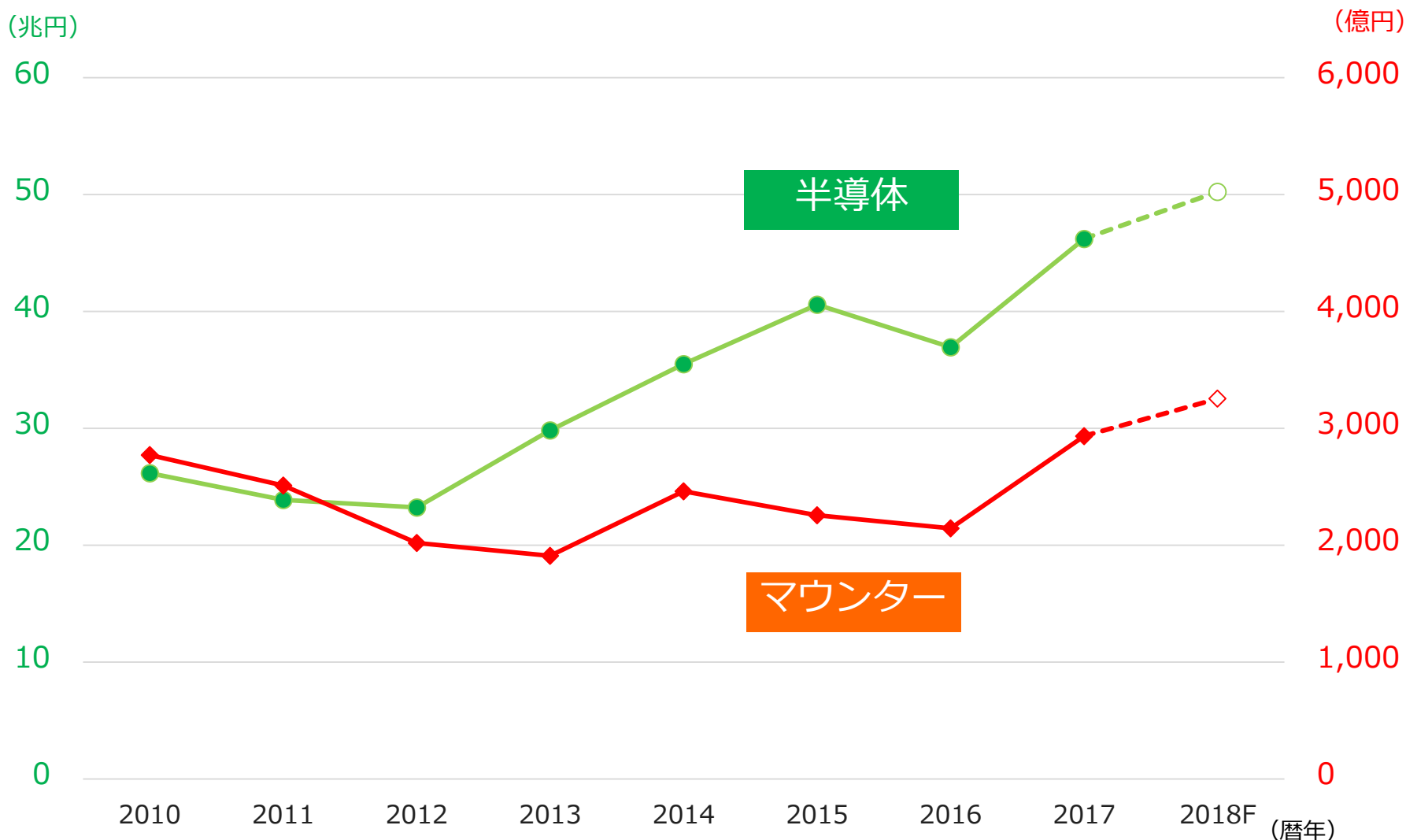
スローガン：FUJIブランド30

事業ビジョン：実装機市場でシェア30%を確保

事業戦略：

- ・ FUJIブランドの確立
- ・ FUJIブランド商品の充実
  - 新製品、Smart Factoryを高品質で市場に展開-
- ・ 顧客満足度の向上
- ・ 次世代のものづくり改革

# 半導体とマウンターの需要比較

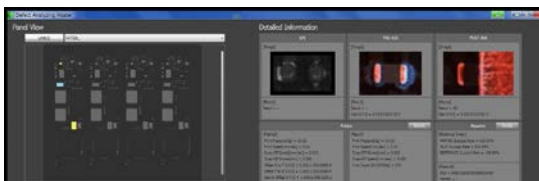


半導体 : WSTS マウンター : 各種データより F U J I 作成 (2018年は F U J I 予測)

# Smart Factory 構想



ライン全体  
進捗・稼動・品質  
モニタリング&分析



自動倉庫



Nexim

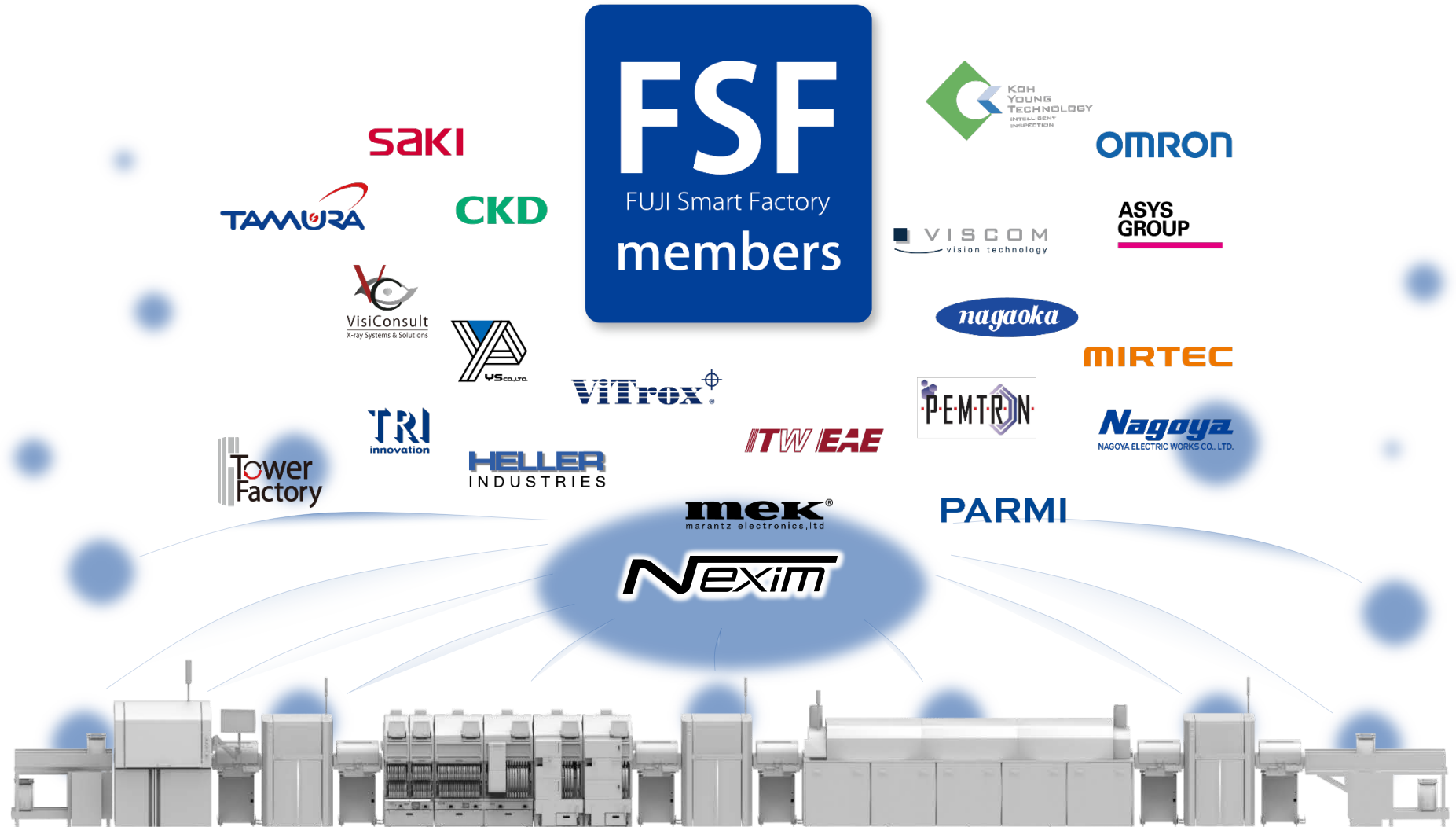


印刷機フィードバック制御

マウンターフィードバック制御

ライン全体自動段取り替え

# ひろがるFUJI SMTネットワーク



各社装置と連携し、品質、生産性の更なる向上へ

# ファスフォードテクノロジー株式会社とのシナジー

F U J I 独自技術と半導体関連技術の連携により、両分野にまたがる新しい事業領域に対し、新たな価値を創造していきます

産業用ロボットメーカー



統合生産システム



印刷機



電子部品実装ロボット



半導体部品実装ロボット



半導体製造装置メーカー

**FASFORD  
TECHNOLOGY**

メモリ向け



メモリ・ロジック向け



フリップチップ対応



半導体後工程  
及び  
電子部品実装工程の  
次世代技術開発

両社製品の  
更なる品質向上

# マシンツール事業戦略

スローガン：利益の徹底追求

安定した黒字経営基盤を構築する

事業ビジョン：3×3（スリーバースリー）を活かした  
エコシステムの構築

3つの機能（販売、技術、生産）と3つの拠点  
（豊田工場、昆山富士、フジマシンアメリカ）が互いの  
リソースを有効活用して事業価値を向上できる  
仕組みをつくる

事業戦略：

- ・ 売上拡大と販売地域割合の改善
- ・ 販売戦略と連動した製品開発
- ・ 標準化とIoTによる生産性向上
- ・ お客様第一の品質保証体制

# 成長戦略

## ロボットメーカーとしての躍進

ロボット開発  
を支える

FUJI Robo Components

リニアモーター・  
ロボットシステム等  
外販化

ロボット技術で新しい価値を創造



電子部品実装ロボット  
(ロボティックマウンター)



半導体製造装置

工作機械

(ロボット搬送システム)



IoT

スマートファクトリー

生産の自動化

高精度

生産性

コアテクノロジー

解析技術

モーション  
コントロール  
技術

ビジョン  
技術

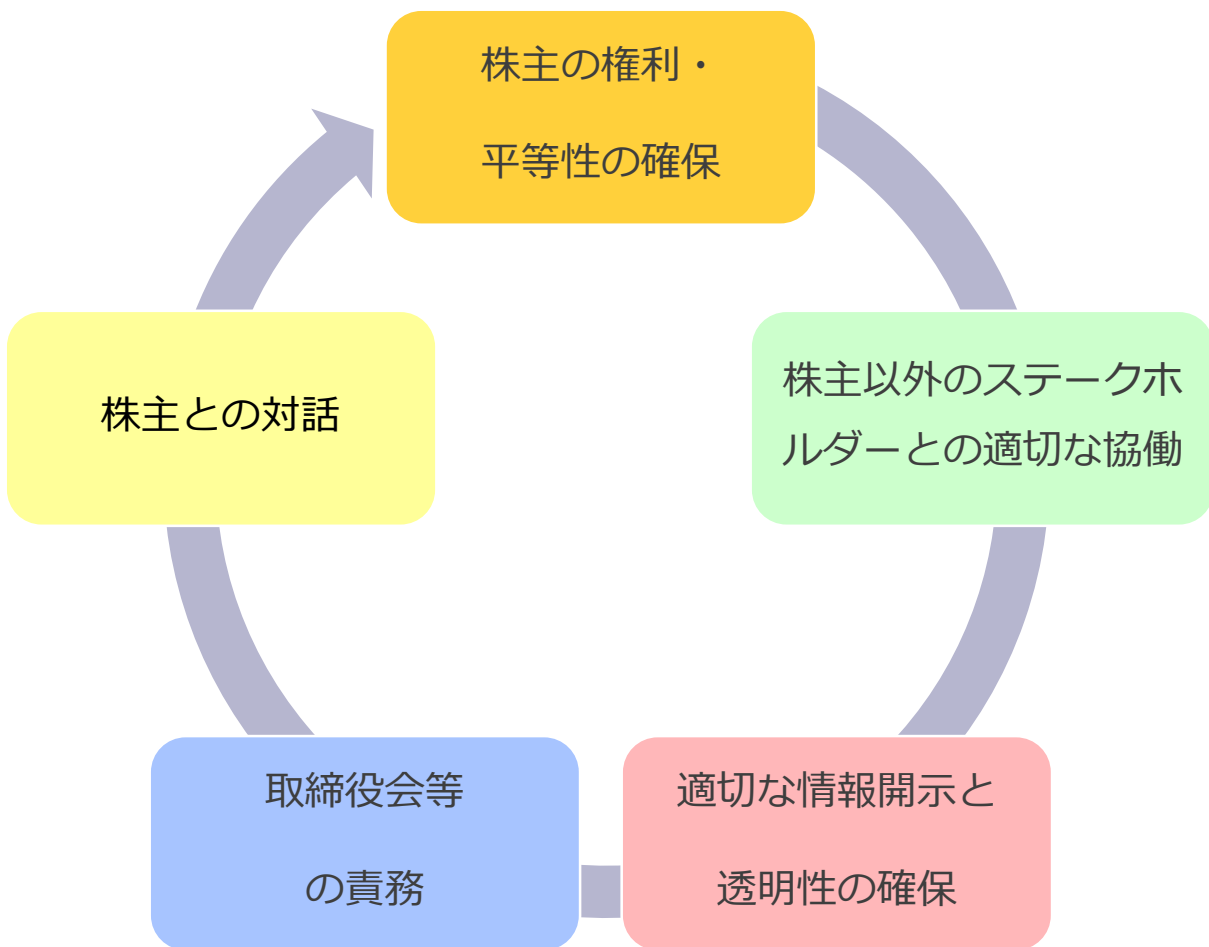
効率的な資金活用による迅速な施策実現

- ・販売力強化 ・研究開発 ・M&A
- ・技術提携 ・モノづくりアライアンス ・資本参加

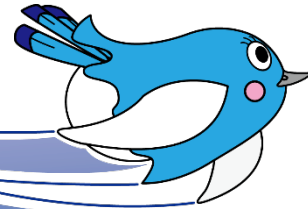


# コーポレートガバナンス・コード

当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、企業価値の向上を目指してまいります。



1. 株主の権利・平等性の確保
  - ・ 英文開示の充実
  - ・ 招集通知の発送前電子開示
2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働
  - ・ 女性の活用を含む社内の多様性の確保
  - ・ 取引先・地域社会との絆
  - ・ 生き生きと働ける活力ある職場づくり
3. 適切な情報開示と透明性の確保
  - ・ コーポレートガバナンス報告書等への開示
  - ・ ホームページでの適切かつタイムリーな情報開示
4. 取締役会等の責務
  - ・ 取締役会の迅速な意思決定と業務の執行機能による経営のスピード化と責任の明確化
  - ・ 独立社外取締役の活用
5. 株主との対話
  - ・ IR説明会開催、SR面談の随時対応



# FUJI robots lead the way

ロボットで未来を拓くFUJI

## 【本資料お取扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果があります。

株式会社 **F U J I**